

令和7年度 (9. 3) 学校自己評価

中津市立深水小学校

1 学校の教育目標

多様性を尊重し、ともに学びあい、自主・自立の力を身につけた児童の育成

2 育成を目指す資質・能力 【 コミュニケーション力 】

3 重点目標・達成指標、重点的取組等

評定判断基準	
A	…達成率90～100%
B	…達成率70～ 89%
C	…達成率60～ 69%
D	…達成率60%未満

生きて働く知識・技能の習得

思考力・表判断力・現断力の育成

学び間に性向等からの涵養

働き方改革の推進

重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標	評価	成果と課題、及び次期に向けての取組
基礎基本の定着 (もっと学びたい)	①国・算の単元末テスト(知識・技能)において、児童自身が設定した目標を90%以上が達成できる。 ②「授業がわかる」と回答する児童が90%以上になる。	学校	◇児童が「学ぶことが楽しい」と実感できる授業づくり ◇個別最適な学びの保障	B	①国語単元末テスト(知・技)・・・57% 算数単元末テスト(知・技)・・・57% →言語と漢字、読みに重点を置いた学習を取り入れる。 ②児童アンケート「授業がよくわかる」の項目 肯定的評価100%
		家庭	◇基本的な生活習慣の確立	A	早寝早起き朝ごはんに心がけている・・・肯定的回答100% 家庭学習の確認をしている・・・肯定的回答75% →家庭への周知を継続する。
		地域	◇学習への積極的支援	A	読み聞かせ・農業体験・書写・道徳授業・ダンス指導等さまざまな活動で支援。
学びを深める、拓げる力の育成 (もっと挑戦したい)	③「友だちと一緒に学ぶのが楽しい」と回答する児童が80%以上になる。 ④「失敗しても、あきらめずに挑戦している」と回答する児童が90%以上になる。 ⑤学習や活動の振り返りをみんなの前で発表することができる児童が80%以上になる。	学校	◇協働的な学びの時間の充実	A	③～⑤ →発言の場を設定するが、評価されることが少ないので、多くの交流が必要。さまざまな体験の機会を設定しているが、取り組みを強化していく。
		家庭	◇背伸び活動の推進	A	→家庭への周知を継続する。 →工夫した読書活動の場をつくる。
		地域	◇地域は、学校行事に積極的に参加・支援を行う。	A	様々な行事で地域や学校と交流している。
協働的に課題を解決する力の育成 (もっと貢献したい)	⑥「友達と協力しながら、すんで学んだり運動したりしている」と回答する児童が90%以上になる。 ⑦「地域や家族のために役に立っている」と回答する児童が80%以上になる。	学校	◇児童会活動を通した自主的・創造的な活動の推進 ◇豊かな体験活動の充実	A	全校で遊びを話し合いにより決めたり、総会では、全員が考えを発表できている。 →話し合いをまとめる力をつけていくことが課題である。
		家庭	◇家族の一員としての役割分担の明確化	A	保護者アンケートA評価・・・100% →継続して取り組む。
		地域	◇深水子ども応援団活動の継続	A	プール掃除・田植え・道徳授業・あいさつ等 多くの方の支援がある。
校務分掌の効率化	○15：30以降を「個別業務タイム」とし、週4時間以上を目標に実施。 ○「ワークライフバランスが取れている。」と回答する教職員が90%以上になる。 ○原則18：00までに全職員が退庁する。	学校	◇会議時間内の効率的運営	B	時間の確保・・・教職員アンケート100% データベース化、ペーパーレス化 →超勤時間を減らす。
		家庭	◇会員減による活動の効率化	B	→行事のお知らせ等、ホームページやすぐーるの活用を進める。
		地域	◇学校運営協議会の充実 ◇PTA準会員としての学校支援	A	→地域への周知の方法を検討する。すぐーるの登録等。